

2016年2月26日

柏市長 秋山 浩保 様

放射能対策事業の改善をもとめる要望書

住 所 柏市 [REDACTED]
氏 名 座間愛 (環境とエネルギー・柏の会 代表)
電話番号 [REDACTED]

日頃から、市民の放射線に関する不安に向き合い対策を講じていただきありがとうございます。特に昨年7月からスタートした甲状腺超音波検査事業に関しては、当初、受診希望者300名と予想されていたようですが、2月17日時点で860名の受診申請があったと聞きます。市民のニーズの高さがわかります。市民の声にこたえて柏市独自で検査事業に踏み切ってくださいましたおかげです。

福島第一原子力発電所事故からもうすぐ5年たちますが、これからも予防原則にのっとり、市民の健康と安全を守るために、市民の声に耳を傾け放射能対策事業の改善をお願いします。

なお、以下要望のご回答は3月29日までに文書でお願いいたします。

要望項目

- 1、公園に設置されていた除染後の放射線量と汚染土の埋設場所を記載した看板を再設置し、公園内の放射線量のモニタリングを継続し、表示してください。

除染後、公園に除染前後の放射線量と汚染土を埋設した場所を記載した看板が設置されていましたが、突然撤去されてしまいました。看板があることによって、公園を利用する母親たちは看板に記載された放射線量を見て、公園で子どもを遊ばせるかどうかを判断することができました。なぜ突然看板が撤去されてしまったのでしょうか。母親たちは困惑しています。再度公園内の放射線量と汚染土の埋設場所を記載した看板を設置し、放射線量のモニタリングを継続し、看板の記載事項を更新して下さい。

- 2、甲状腺超音波検査でA2と診断された受診者も経過観察にし、希望者には医師からの説明を受けられるようにしてください。

甲状腺超音波検査は、放射性ヨウ素の初期被ばくに対する市民の不安を軽減するために実施されています。このことからA2判定の受診者も経過観察とし、希望者には医師からの説明を受けられるようにしてください。所見があるのに医師からの説明が受けられないと市民に不安が残ってしまいます。

以上